
全力ダークサイド

ムシガレイ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

全力ダークサイド

【Nコード】

N4216V

【作者名】

ムシガレイ

【あらすじ】

知っている人は知っていて、知らない人は知らなかった事。

(前書き)

結局基地外だけだね。ドイツモコイツモ。

おらさ『なんちやって理工系のオチコボレ』ってとーきよーもんに
言われちまったがらよ、文章の稚拙さは堪忍してくんろ。

他の個人サイトから、ゲームから、商業誌から、そしてこの『小説家になるう』内部からも。

ありとあらゆる所から文章をコピーし、自作品ですと胸を張って投稿する痴れ者がいる。

誰とは言わないし、誰とも言えない。言うには人数が多すぎるし、言うには僕の勇気が足りない。

しかし、この今の『小説家になるう』の状態はあまりにも酷すぎる。知っているだろうか？ パクられた側の作者が理由もなく理不尽な攻撃を受け、精神的にかなり追い詰められていた事を。

知っているだろうか？ パクった側の作者（と言うのも忌々しいのだが）が、元ネタの作者に執拗な嫌がらせを繰り返し、パクりを容認させようとしていた事を。

卑劣、破廉恥、そんな言葉では収まらない。万死にしても尚、物足りない。

更に、そのパクり作者が、複数のIDを取得して自己を正当化しようとしたり、周囲の（少なくとも僕から見れば）正しい事を言っている人達に過激なまでの攻撃を加えたりもした。当然のように、自分の作品にレビューを入れたりポイントを入れたりもしている。マジで死んで然るべき。というか、実行犯が僕の目の前に現れたりしたら、僕は形振り構わず正義の鉄槌と称してそいつをブチ殺しているだろう。他に何人も同じような奴がいて、たかが一人殺した程度じゃ無駄に牢屋送りになるだけだとは知っただけだ。我慢出来ない。

でも、実際はそんなキチガイじみた奴を殺せるわけでもないし、出会えたとしてもそいつとは判別出来ないだろうし、何より僕が実際に人殺しを敢行する根性を持ち合わせているかというところ、案外そうでもなかったりする。切られたり刺されたり、火傷したりして痛いというのは、僕も一応知っている。それも、旋盤を使っていて鉄の切り粉が飛んできて、痛い！とか思ってる貧弱な心だから、ナイフを人に向ける以上の事は出来ないかも知れない。

だから、こうしてどこへも行けない怒りのはけ口おして、駄文を連ねている。

勿論こんな事言っただって所詮僕の独りよがりなワガママに過ぎないし、もしこれを読んだ人がいたとしてこれに必ずしも共感してくれとは限らない。そんな事分かりきっている。所詮クズな男子高校生のオナニーにしかない、理解している。

でも、ここで書いとかなきや僕はたぶんストレスがマツハでレッドゾーンを突破してしまう。感情のはけ口が無ければ、また僕が痛い目を見る。

そうして僕が一人だけスッキリして、周りの人に迷惑をかけるんだろう。知ってる。だからその事を指摘するのは止してくれ。

ただ、最後にちょっとだけ言わせてくれ。

盗作？

無断転載？

作者への脅迫？

全部犯罪行為だ、ボケが。そういう連中は今すぐここから出て行け。この世からも出て行け。生まれ変わっても来るな。地獄の底でのたうち回ってやがれ。

俺達は趣味で、本当に好きで小説を書きたいんだ。利益とか関係無しにな。で、感想貰ったり正論で突っ込まれたりして自分の作品が

伸びていくのが楽しくてやってけてるんだ。

それを邪魔されちゃ作者として堪らないんだよ。いくら駄文だろうが稚拙だろうが更新遅かろうが何か途中からキャラが独り歩きし始めておのれデイケイドとか吼えなくなったりしても、自分の作品だから愛してるんだよ。

それを盗られたりしたら、出刃包丁で腹ぶっ刺されてグリグリ掻き回された上にモツを手で引き摺り出されてちぎられるのと同じかそれ以上の痛みを味わう事になるってのを、分かってくれよ……。

(後書き)

カッとなってやった後悔してる正直。でもコレが本音だし、コレが見てくれた人全員に伝えたい事だと思う。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4216v/>

全カークサイド

2011年10月9日20時16分発行